



Graduate School of
Literature & Human Sciences
Osaka City University

2019

International School Lecture & Seminar Series
No.45

5月23日(木)

ドイツと日本の「不登校」

—公教育の可能性と限界を探る—

“SCHOOL ABSENTEEISM” IN
GERMANY AND JAPAN: SEEKING
THE SCOPE OF PUBLIC
EDUCATION

講演

^{シュルツェ}
Gisela C. Schulze オルデンブルク大学 教授

^{リックング}
Heinrich Ricking オルデンブルク大学 教授

ドイツと日本における「不登校」をテーマに、学校教育の意義と課題について比較検討します。なぜ学校に通えないのかや、そのことにどう対応すればよいのかを考えることはもとより、そもそもなぜ学校に通わなければならないのか、という公教育の可能性と限界についても探求したいと考えています。

登壇者は皆ネイティブではありませんから、英語力に自信がない方もお気軽にご参加ください。

どなたでもご参加いただけます

文学研究科
インターナショナルスクール
日常化プログラム
No.45

日時：2019年
5月23日(木)
15:30 - 17:30

会場：大阪市立大学
学術情報総合センター
1F ツクルマ

使用言語： 英語

主催：教育学専修
共催：インターナシ
ョナルスクール

インターナショナルスクール
事務局

(06) 6605-3114

<https://www.lit.osaka-cu.ac.jp/IS/ja/>

公開フォーラム (参加無料)

ドイツと日本の「不登校」

—公教育の可能性と限界を探る—

“SCHOOL ABSENTEEISM” IN JAPAN AND GERMANY: SEEKING THE SCOPE OF PUBLIC EDUCATION

コーディネーター
coordinator



Kemma Tsujino
辻野けんま

大阪市立大学 准教授
教育経営学

提案者
presenter



Haruo Soeda
添田晴雄

大阪市立大学 教授
比較教育学

提案者
presenter



Gisela C. Schulze
ギゼラ C.シュルツェ

オルデンブルク大学 教授
特別支援教育学

提案者
presenter



Heinrich Ricking
ハインリッヒ・リッキング

オルデンブルク大学 教授
特別支援教育学

ドイツのオルデンブルク大学から 2 名の先生を招聘し公開研究会を開催します。ドイツと日本における「不登校」をテーマに、学校教育の意義と課題について比較検討します。なぜ学校に通えないのかや、そのことにどう対応すればよいのかを考えることはもとより、そもそもなぜ学校に通わなければならないのか、という公教育の可能性と限界についても探究したいと考えています。研究会は英語で行いますが、登壇者は皆ネイティブではありませんから、英語力に自信がない方もお気軽にご参加ください。

2019年5月23日(木) 15:30 - 17:30

場所： 大阪市立大学 学術情報総合センター1F ツクルマ



https://libweb.media.osaka-cu.ac.jp/?page_id=112

アクセス：JR 阪和線「杉本町駅」より徒歩 5 分
大阪メトロ「あびこ駅」より徒歩 20 分

お問い合わせ先：

辻野けんま tsujino@lit.osaka-cu.ac.jp